



若葉保育園



6月26日は若葉保育園（本田恵美子園長・144人）と高木保育園（野口壮一園長・71人）の年長児47人が合同で福島則義さん（木倉）の水田で田植え体験をしました。福島さんは「お米がどんな風に作られて、作業がどれだけ大変かということを知ってもらいたい。お米離れしている世の中、たくさんお米を食べて元気に育ててほしい」と話しました。園児たちは福島さんの指導を受けながら、上手に楽しく苗を植えていました。最後に園児たちは「早くおいしいご飯になってください」と合掌して、祈りを込めました。



高木保育園



滝尾小学校



6月22日は滝尾小学校（上田晃生校長・63人）の5年生11人が社会科・総合学習の授業で田植えを行いました。今年も村上新次さん（滝尾）の水田で、指導を受けながら、田植えをしました。村上さんは「少しでも地域に貢献し、子どもたちのためになれば」と話しました。田植えの途中、村上さんから“お米”の勉強会がありました。児童たちは、初めて知ったお米のことに興味津々でした。

## 町内各地で 田植え体験



小坂小学校



6月27日は小坂小学校（山本定校長・221人）の5年生32人が総合的な学習の授業で田植えを行いました。今年も徳永廣敏さん（陣）の水田で、指導を受けながら、田植えをしました。徳永さんは「自分で植えて、自分で刈り取ることで子どもたちに食育の大切さを学んでもらえば」と話しました。児童たちは、「植えるぞー！オー!!」と声を出し、「ワッショイ！ワッショイ!!」と掛け声をかけながら、楽しく植えました。今回植えたのは、もち米。11月には刈り取ったもち米で学校全体で収穫祭をします。

### 上野保育園がじゃがいも掘り

6月1日、南田代第2区の中山間地事業（岡本和加明会長）の一環で上野保育園（上村いつ子園長・45人）の園児15人が上野の畑でじゃがいも掘りをしました。交流を目的としているこのイベントは10年以上続いており、岡本会長は「昨年は震災で中止になったため、今年こそは!という思いでした。子どもたちの笑顔が見れて良かったです」と話しました。中山間地の人たちに掘り方を教わった子どもたちは、ハート型のじゃがいもを見つけては、洋服を袋状にしてたくさん詰め込んで運び、楽しいひとときを過ごしました。その後、園児たちはたくさん採れたじゃがいもを仮設団地やみどりの丘（小規模多機能ホーム）に笑顔でおすそ分けに行きました。



みんなでじゃがいも掘ったぞー!!



再建した顕彰碑を背に喜ぶ同志たち

### 被災した鼎春園に支援金、再建へ

6月4日、熊本地震で被災した宮部鼎蔵顕彰碑がある鼎春園（上野）の復興のために、鼎蔵と親交があった吉田松陰の生誕地、山口県萩市の住民有志から3度目の支援金が渡されました。顕彰碑が傾き、歌碑が倒れていましたが、3月25日に修復が完了。萩市から駆けつけられた山本貞壽さんは「なんとかしたいという一心でした。松陰先生と鼎蔵先生の友情が成し得たものです」と話されました。北川内会長は「こんなに早く再建できるとは思いませんでした。萩市の皆様のおかげです。」とお礼の言葉を述べました。

### 「人権の花」運動伝達式

6月5日、熊本人権擁護委員協議会（井口誠一会長）が御船小学校（大脇為久校長・339人）で「人権の花」の伝達式を行いました。昭和57年から始まり、今年で36年目を迎えるこの運動には、種子から花を育て、命の大切さを学び、また新しくできた種子を次の世代につなげるという目的があります。児童たちは、人権擁護委員が演じる「人に優しくできるって、素敵だね!」をテーマに劇を見て、人権の大切さを深めました。児童を代表して、栗崎汐里さん（小6）が「花を育てることで命を育てることの大切さを知りました。育てた花の種を次につなげていきたいです」と話しました。



種子とプランターを受け取る金子悠さん（小4）



滝尾小学校5、6年生による「ソーラン節」

### ホタルの山里水越でホタルを見る会

6月10日、ホタルを見る会が旧水越小学校体育館で開催されました。公民館水越分館（藤岡昇分館長）が主催。まず初めに、震災の影響で道を塞いでいた崩落巨大岩「風神石」の撤去までの道のりを語り合いました。その後滝尾小学校5、6年生の力強いソーラン節、やっちゃん一座（山都町）による芝居などが披露され、会場を沸かしました。ホタル観賞会ではホタルも頑張っ竹の上まで飛び、水越川の流れて飛ぶ姿が見られました。2年ぶりに行われたホタルを見る会、来年はさらなる乱舞をもたらしてくれるはずですよ。